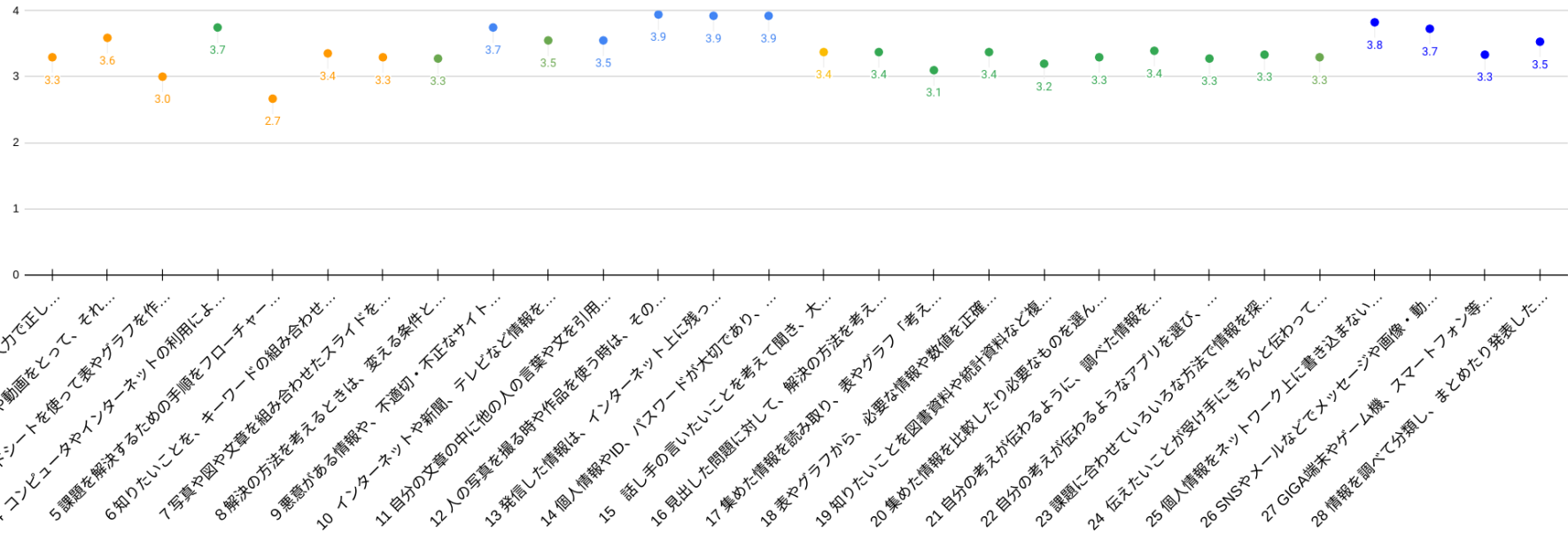


情報活用能力2022 ステップ2 6年（後期） 28項目の平均値分布

質問28項目毎の平均値を分布図で表示 3観点（知識・技能、思考・判断・表現、学びに向かう力・人間性等を）色別に表示



1 キーボードを使って、ローマ字入力で正しく文章を打つことは得意である。(鉛筆で書くスピードより速く打てる)	15 話し手の言いたいことを考えて聞き、大事だと思うことをメモを取ることができる。
2 カメラアプリで写真や動画を撮って、それをスライドなどにはいることは得意である。	16 見出した問題に対して、解決の方法を考えることができる。
3 スプレッドシートを使って表やグラフを作ることができる。	17 集めた情報を読み取り、表やグラフ「考えるための技法（思考ツール等）」に整理して表すことができる。
4 コンピュータやインターネットの利用によって、社会や生活が変化していることを知っている。	18 表やグラフから、必要な情報や数値を正確に読み取ることができる。
5 課題を解決するための手順をフローチャートなど図示して、簡単なプログラムをつくることは得意である。	19 知りたいことを図書資料や統計資料など複数の情報を集めて、整理・分析することができる。
6 知りたいことを、キーワードの組み合わせを考えながらインターネットで検索することができる。	20 集めた情報を比較したり必要なものを選んで取りまとめることができる。
7 写真や図や文章を組み合わせたスライドを作ることができる。	21 自分の考えが伝わるように、調べた情報を他の情報と比較して、他の人の意見を工夫して取り入れることができる。
8 解決の方法を考えるときは、変える条件と変えない条件を整理することを知っている。	22 自分の考えが伝わるようなアプリを選び、資料を活用するなど、表現を工夫することができる。
9 悪意がある情報や、不適切・不正なサイトやファイルを見つけたときは見ないようにし、大人に相談することを知っている。	23 課題に合わせていろいろな方法で情報を探したり調べたりするなかで、それを比較して活用しようとしている。
10 インターネットや新聞、テレビなど情報を伝えるメディアの特徴や、視点を変えることで色々な見方ができることを知っている。	24 伝えたいことが受け手にきちんと伝わっているか、自分の発表を振り返り、次の学習に生かそうとしている。
11 自分の文章の中に他の人の言葉や文を引用するときは、そのふぶんに「」をつけてそのまま書くことを知っている。	25 個人情報やネットワーク上に書き込まないようにしたり、パスワードを他の人にわからないようなものにしたりしている。
12 人の写真を撮る時や作品を使う時は、その人の許可が必要だと知っている。	26 SNSやメールなどでメッセージや画像・動画を送るときには、誰が見るか、その内容が適切かどうかなど、よく考えるようにしている。
13 発信した情報は、インターネット上に残ったり広がったりする危険性があることを知っている。	27 GIGA端末やゲーム機、スマートフォン等の使いすぎないように、時間や場所、姿勢に気をつけて使っている。
14 個人情報やID、パスワードが大切であり、自分で安全に管理する必要があることを知っている。	28 情報を調べて分類し、まとめたり発表したりする学習では、必要に応じて自分からGIGA端末を活用するようにしている。